

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-142124

(P2016-142124A)

(43) 公開日 平成28年8月8日(2016.8.8)

(51) Int.Cl.

E06B 9/52 (2006.01)

F I

E06B 9/52

A

E06B 9/52

B

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 7 書面 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2015-31078 (P2015-31078)

(22) 出願日 平成27年2月2日 (2015.2.2)

(71) 出願人 594108410

孤田 泰三

東京都青梅市本町198-11ファミネス

青梅602

(72) 発明者 孤田 泰三

青梅市本町198-11ファミネス青梅6

02

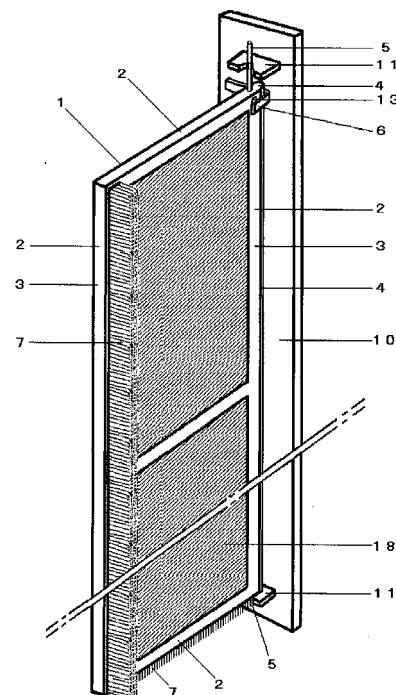
(54) 【発明の名称】 玄関ドア用網戸

(57) 【要約】

【課題】 蚊と不審者の侵入を防ぐ、安価な玄関ドア用網戸を提供する。

【解決手段】 開き戸式の玄関ドアに防犯チェーンをかけたまま半開きの状態において取り付けられるアルミニウムやプラスチック樹脂様の素材を用いた縦細長四角形状の網戸であり、網戸の長手枠の上下端に取付軸を形設し、ドア取付枠の開閉側の垂直枠の外側に網戸取付台を設置し、取付軸受けを設け、この取付軸受けに取付軸を嵌めこんで、網戸は自在に回転し、ドアの開きによって生じる上方の隙間を塞ぐ庇を設け、庇にモヘアを設けたことを特徴とする玄関ドア用網戸であり、室内側に伸縮式突っ張りポールを立て、この突っ張りポールに網戸取付台を設置しても、同様の効果が得られ、網を巻き取るような筐体をドア取付枠の開閉側の垂直枠の室内側に取り付けても、同様の効果が得られる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開き戸式の玄関ドアーに防犯チェーンをかけたまま半開きの状態において取り付けられるアルミやプラスチック樹脂等の素材を用いた縦細長四角形状の網戸であり、網戸の四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁を外側へ丸く土手状に膨らませて形成し、この縁の上下端に約 10 ミリ長さの取付軸を形設し、この取付軸に隣接して、フレーム枠の内・外両側に磁石を設け、この取付軸側と反対側の長手枠において、ドアー側に対面する面に直行的に上下全域にモヘアを形設し、網戸の下端で床に対面する面全域にモヘアを形設し、網戸とは別に、ドアー取付枠のドアー開閉側の垂直枠の外側において、約 2.5 センチメートル幅の網戸取付台を縦一杯に設置し、その上下端に取付軸受けを設け、この取付軸受けに隣接して、鉄片により回動ストッパーを設け、この取付軸受けの受け口からフレーム枠の取付軸を嵌めこんで、網戸は凡そ 90 度の範囲で自在に回動することができ、ドアー取付枠の上部水平枠の外側に、ドアー固定側から徐々に先広がり伸びて、ドアーの開きによって生じる上方の隙間を塞ぐ庇を設け、庇の下側の外側縁と、その少し内側に複数筋状にモヘアを形設したことを特徴とする玄関ドアー用網戸。

10

【請求項 2】

上記第一の解決手段において、網戸の四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁を網戸取付台と一体成型的一連続的に形設し、両者の直行的交差部の厚さを薄くして蝶番の如き機能をもたせることで、この長手枠が網戸取付台を中心として、凡そ 90 度の範囲で回動できるように形成し、回動ストッパーと共にドアー取付枠のドアー開閉側の垂直枠の外側に設置したことを特徴とする請求項 1 における玄関ドアー用網戸。

20

【請求項 3】

巾が異なる 2 つの網戸を設け、広巾網戸と小巾網戸とし、広巾網戸の四辺のフレーム枠の内、長手方向のフレーム枠に、枠と平行に広巾網戸の溝を形成し、小巾網戸の四辺のフレーム枠の内、長手方向のフレーム枠に、枠と平行に小巾網戸の溝を形成し、広巾網戸の溝に小巾網戸の溝の縁を差し込み、小巾網戸の溝に広巾網戸の溝の縁を差し込み組み付けると、広巾網戸と小巾網戸は自由に摺動でき、更に小巾網戸のフレーム枠の上端に磁石を設け、庇については第一の解決手段と同じにしたことを特徴とする請求項 1 又請求項 2 における玄関ドアー用網戸。

【請求項 4】

上記第一及び第二の解決手段において、ドアー取付枠の開閉側の垂直枠の室外側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、この伸縮式突っ張りポールに網戸取付台を設置したことを特徴とする請求項 1 又請求項 2 又請求項 3 における玄関ドアー用網戸。

30

【請求項 5】

上記第四の解決手段において、ドアー取付枠の開閉側の室内側の垂直枠に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、網戸の形を室内側のドアーノブを覆い隠す様に湾曲させ、網戸の先端、上端、下端にモヘアを形設し、網戸取付台を伸縮式突っ張りポールに設置するか、又は、ドアー取付枠の開閉側の室内側の垂直枠に直接設置したことを特徴とする請求項 1 又請求項 2 又請求項 3 又請求項 4 における玄関ドアー用網戸。

40

【請求項 6】

上記第二の解決手段において、網戸の長手枠と網戸取付台との交差部の一か所以上にバネを形設し、網戸取付台に近い長手枠をドアー取付枠方向側に約 120 度に曲げ、先端、下端にモヘアを形設し、開閉側のドアーの先端より少し戻した位置のドアー正面に網戸取付台を設置したことを特徴とする請求項 1 又請求項 2 又請求項 3 又請求項 4 又請求項 5 における玄関ドアー用網戸。

【請求項 7】

網戸のフレーム枠に薄く柔軟な樹脂を用い、四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁にハンドルと磁石を設け、これとは反対側の長手枠を回転軸をもったドラムの表面に取り付け、網の出入り口をもった縦細長四角形状の筐体の中心付近に設置し、ドラムの回転

50

軸受に隣接してゼンマイバネを形設し、ゼンマイバネの内端を回転軸受に固定し、ゼンマイバネの末端部分を回転リングに固定し、回転リングをドラムと連結し、巻尺の様に網を巻き取り・巻き戻し、このような筐体をドア取付枠の開閉側の垂直枠の室内側に磁石や両面テープ等で取り付け、上記第一の解決手段と同様に底を設けても、上記第一及び第二の解決手段と同様の効果が得られ、ドア取付枠の開閉側の垂直枠の室内側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、筐体を取り付けたことを特徴とする請求項1又請求項2又請求項3又請求項4又請求項5又請求項6における玄関ドア用網戸。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

本発明は、玄関ドア用虫よけ網戸に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、玄関より虫の侵入を防ぐためには、網戸が利用されていた。また、不審者の侵入を防ぐ為には、玄関ドアに施錠されていた。この両方を防ぐ網戸として、防犯用の鍵のかかる玄関用網戸が利用されていた。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

20

風の通りが悪く、夏の暑さが耐え難いとき、玄関ドアを少し開ければ、風通しが良くなり、快適である。ところが、玄関ドアを解放したくても、不審者や蚊が入ってくるので解放することができなかった。鍵の掛かる網戸もあるが、工事を伴い、建具に傷をつけてしまうだけでなく、高価であった。蚊と不審者の侵入を防ぎ、しかも、工事を伴わず、建具も傷つけない、安価な玄関ドア用網戸は存在しなかった。

本発明は以上の問題点を解決するものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

(イ) 第一の解決手段

開き戸式の玄関ドアに防犯チェーンをかけたまま半開きの状態において取り付けられるアルミやプラスチック樹脂等の素材を用いた縦細長四角形状の網戸である。網戸の四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁を外側へ丸く土手状に膨らませて形成する。この縁の上下端に約10ミリ長さの取付軸を形設する。この取付軸に隣接して、フレーム枠の内・外両側に磁石を設ける。この取付軸側と反対側の長手枠において、ドア側に対面する面に直行的に上下全域にモヘアを形設し、網戸の下端で床に対面する面全域にモヘアを形設する。網戸とは別に、ドア取付枠のドア開閉側の垂直枠の外側において、約2.5センチメートル幅の網戸取付台を縦一杯に設置し、その上下端に取付軸受けを設ける。この取付軸受けに隣接して、鉄片により回動ストッパーを設ける。この取付軸受けの受け口からフレーム枠の取付軸を嵌めこんで、網戸は凡そ90度の範囲で自在に回動することができる。ドア取付枠の上部水平枠の外側に、ドア固定側から徐々に先広がりに伸びて、ドアの開きによって生じる上方の隙間を塞ぐ底を設ける。底の下側の外側縁と、その少し内側に複数筋状にモヘアを形設する。

30

40

(ロ) 第二の解決手段

上記第一の解決手段において、網戸の四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁を網戸取付台と一体成型的一連続的に形設し、両者の直行的交差部の厚さを薄くして蝶番の如き機能をもたせることで、この長手枠が網戸取付台を中心として、凡そ90度の範囲で回動できるように形成し、回動ストッパーと共にドア取付枠のドア開閉側の垂直枠の外側に設置しても同様の効果が得られる。

(ハ) 第三の解決手段

巾が異なる2つの網戸を設け、広巾網戸と小巾網戸とする。広巾網戸の四辺のフレーム枠の内、長手方向のフレーム枠に、枠と平行に広巾網戸の溝を形成し、小巾網戸の四辺の

50

フレーム枠の内、長手方向のフレーム枠に、枠と平行に小巾網戸の溝を形成し、広巾網戸の溝に小巾網戸の溝の縁を差し込み、小巾網戸の溝に広巾網戸の溝の縁を差し込み組み付けると、広巾網戸と小巾網戸は自由に摺動でき、更に小巾網戸のフレーム枠の上端に磁石を設ける。庇については第一の解決手段と同じです。このような方法によっても、上記第一及び第二の解決手段と同様の効果が得られる。

(二) 第四の解決手段

上記第一及び第二の解決手段において、ドア取付枠の開閉側の垂直枠の室外側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、この伸縮式突っ張りポールに網戸取付台を設置しても、同様の効果が得られる。

(ホ) 第五の解決手段

上記第四の解決手段において、ドア取付枠の開閉側の室内側の垂直枠に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、網戸の形を室内側のドアノブを覆い隠す様に湾曲させ、網戸の先端、上端、下端にモヘアを形設し、網戸取付台を伸縮式突っ張りポールに設置するか、又は、ドア取付枠の開閉側の室内側の垂直枠に直接設置しても同様の効果が得られる。

(ヘ) 第六の解決手段

上記第二の解決手段において、網戸の長手枠と網戸取付台との交差部の一か所以上にはバネを形設し、網戸取付台に近い長手枠をドア取付枠方向側に約120度に曲げ、先端、下端にモヘアを形設し、開閉側のドアの先端より少し戻した位置のドア正面に網戸取付台を設置しても同様の効果が得られる。

(ト) 第七の解決手段

網戸のフレーム枠に薄く柔軟な樹脂を用い、四辺のフレーム枠の内、長手枠の一方側の縁にハンドルと磁石を設ける。これとは反対側の長手枠を回転軸をもったドラムの表面に取り付け、網の出入り口をもった縦細長四角形状の筐体の中心付近に設置する。ドラムの回転軸受に隣接してゼンマイバネを形設し、ゼンマイバネの内端を回転軸受に固定し、ゼンマイバネの末端部分を回転リングに固定し、回転リングをドラムと連結し、巻尺の様に網を巻き取り・巻き戻す。このような筐体をドア取付枠の開閉側の垂直枠の室内側に磁石や両面テープ等で取り付け、上記第一の解決手段と同様に庇を設けても、上記第一及び第二の解決手段と同様の効果が得られる。ドア取付枠の開閉側の垂直枠の室内側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポールを立て、筐体を取り付けても同様の効果が得られる。

以上の構成よりなる玄関ドア用網戸である。

【発明の効果】

【0006】

防犯チェーンをかけたまま玄関ドアを解放することができ、蚊も不審者も入ってくることがなく、風通しがよいので快適である。磁石や両面テープ等で取り付けることができるので、建具を傷つける工事は必要ない。構造が簡単なので、安価に製作できる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明の第一の解決手段における外観斜視図

【図2】本発明の第一の解決手段における網戸の構造を見せた平面図

【図3】本発明の第一の解決手段における庇部分の斜視図

【図4】本発明の第一の解決手段における網戸と庇との構造的関連を分かりやすく示した部分斜視図

【図5】本発明の第二の解決手段における外観斜視図

【図6】本発明の第二の解決手段における網戸取付台と網戸のフレーム枠の高さの関係を分かりやすく示した斜視図

【図7】本発明の第二の解決手段における回動ストッパー部分の斜視図

【図8】本発明の第二の解決手段における回動ストッパー部分と磁石部分、モヘア部分と網戸フレーム枠部分の位置関係を分かりやすく示した平面図

10

20

30

40

50

【図 9】本発明の第二の解決手段における網戸と庇との構造的関連を分かりやすく示した部分斜視図

【図 10】本発明の第三の解決手段における外観斜視図

【図 11】本発明の第三の解決手段における広巾網戸の構造を見せた部分斜視図

【図 12】本発明の第三の解決手段における小巾網戸の構造を見せた部分斜視図

【図 13】本発明の第三の解決手段における小巾網戸と広幅網戸を組み合わせた状態を分かりやすく示した部分斜視図

【図 14】図 13 を真上から見た状態を示す平面図

【図 15】本発明の第三の解決手段における庇部分をドア取付枠部分に付けた状態を示す部分斜視図

10

【図 16】本発明の第三の解決手段における網戸と庇部分との構造的関連を分かりやすく示した部分斜視図

【図 17】本発明の第四の解決手段における突っ張りポール部分の斜視図

【図 18】本発明の第四の解決手段における突っ張りポール部分を立てる位置を分かりやすく示した平面図

【図 19】本発明の第五の解決手段において、ドアを閉め、網戸を使用していない状態を分かり易く示した平面図

【図 20】図 19 におけるドアを開け本発明の網戸を使用している状態を分かり易く示した平面図

【図 21】本発明の第六の解決手段における網戸の構造を分かり易く示した斜視図

20

【図 22】本発明の第六の解決手段において網戸とドアとの構造的関連を分かり易く示した平面図

【図 23】図 22 のドアに防犯チェーンをかけたまま開け、本発明の網戸を使用している状態を分かり易く示した平面図

【図 24】本発明の第七の解決手段における網戸の構造を分かり易く示した断面図

【図 25】図 24 のゼンマイバネによる巻取装置付近を拡大表示した断面図

【図 26】巻取装置付を拡大表示した図 25 における A - A 線断面図

【図 27】図 24 における本発明の網戸とドアとの構造的関連を分かり易く示した平面図

【図 28】図 25 におけるドアに防犯チェーンをかけたまま開け本発明の網戸を使用している状態を分かり易く示した平面図

30

【図 29】[0008] の (レ) において、防犯チェーンをかけずに、先に網戸をセットする場合の固定具とシリンダー錠、レールとフック付きチェーンの位置的関連を分かり易く示した平面図

【発明を実施するための形態】

【0008】

以下、本発明の実施の形態を説明する。

(チ) 第一の実施の形態

開き戸式の玄関ドアに防犯チェーンをかけたまま半開きの状態において取り付けられるアルミやプラスチック樹脂等の素材を用いた縦細長四角形状の網戸 (1) である。網戸 (1) の四辺のフレーム枠 (2) の内、長手枠 (3) の一方側の縁を外側へ丸く土手状 (4) に膨らませて形成する。この縁の上下端に約 10 ミリ長さの取付軸 (5) を形設する。この取付軸 (5) に隣接して、フレーム枠 (2) の内・外両側に磁石 (13) を設ける。この取付軸 (5) 側と反対側の長手枠 (3) において、ドア側に対面する面に直行的に上下全域にモヘア (7) を形設し、網戸 (1) の下端で床に対面する面全域にモヘア (7) を形設する。網戸 (1) とは別に、ドア取付枠 (8) の、ドア開閉側 (9) の垂直枠の外側において、約 2.5 センチメートル幅の網戸取付台 (10) を縦一杯に設置し、その上下端に取付軸受 (11) を設ける。この取付軸受 (11) に隣接して、鉄片により回転ストッパー (6) を設ける。この取付軸受 (11) の受け口 (12) からフレーム枠 (2) の取付軸 (5) を嵌めこんで、網戸 (1) は凡そ 90 度の範囲で自在に回転

40

50

することができる。ドア取付枠の上部水平枠(14)の外側に、ドア固定側(15)から徐々に先広がり伸びて、ドアの開きによって生じる上方の隙間を塞ぐ庇(16)を設ける。庇(16)の下側の外側縁と、その少し内側に複数筋状にモヘア(7)を形設する(図1、図2、図3、図4)。

(リ) 第二の実施の形態

上記第一の解決手段において、網戸(1)の四辺のフレーム枠(2)の内、長手枠(3)の一方側の縁を網戸取付台(10)と一体成型的一連続的に形設し、両者の直行的交差部(19)の厚さを薄くして蝶番の如き機能をもたせることで、この長手枠(3)が網戸取付台(10)を中心として、凡そ90度の範囲で回転することができるように形成し、回転ストッパー(6)と共にドア取付枠(8)のドア開閉側(9)の垂直枠の外側に設置しても同様の効果が得られる。また、フレーム枠(2)と網(18)を一体成型しても同様の効果が得られる(図5、図6、図7、図8、図9)。

10

(ヌ) 第三の実施の形態

巾が異なる2つの網戸を設け、広巾網戸(20)と小巾網戸(21)とする。広巾網戸(20)の四辺のフレーム枠(2)の内、長手方向のフレーム枠(22)に、枠と平行に広巾網戸の溝(24)を形成し、小巾網戸(21)の四辺のフレーム枠(2)の内、長手方向のフレーム枠(23)に、枠と平行に小巾網戸の溝(25)を形成し、広巾網戸の溝(24)に小巾網戸の溝の縁(27)を差し込み、小巾網戸の溝(25)に広巾網戸の溝の縁(26)を差し込み組み付けると、広巾網戸(20)と小巾網戸(21)は自由に摺動でき、更に小巾網戸(21)のフレーム枠の上端に磁石(13)を設ける。庇(16)については第一の解決手段と同じです。このような方法によっても、上記第一及び第二の解決手段と同様の効果が得られる(図10、図11、図12、図13、図14、図15、図16)。

20

(ル) 第四の実施の形態

上記第一及び第二の解決手段において、ドア取付枠(8)の開閉側の垂直枠の室外側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポール(30)を立て、上部を回転させて伸縮部分(29)を伸ばして固定し、この伸縮式突っ張りポール(30)に網戸取付台(10)を設置しても、同様の効果が得られる(図17、図18)。

(ヲ) 第五の実施の形態

上記第四の解決手段において、ドア取付枠(8)の開閉側の室内側の垂直枠に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポール(30)を立て、網戸(1)の形を室内側のドアノブ(17)を覆い隠す様に湾曲させ、網戸(1)の先端、上端、下端にモヘア(7)を形設し、網戸取付台(10)を伸縮式突っ張りポール(30)に設置するか、又は、ドア取付枠(8)の開閉側の室内側の垂直枠に直接設置しても同様の効果が得られる(図19、図20)。

30

(ワ) 第六の実施の形態

上記第二の解決手段において、網戸(1)の長手枠(3)と網戸取付台(10)との交差部(19)の一か所以上にバネ(32)を形設し、網戸取付台(10)に近い長手枠(3)をドア取付枠(8)方向側に約120度に曲げ、先端、下端にモヘア(7)を形設し、開閉側のドア(28)の先端より少し戻した位置のドア正面に網戸取付台(10)を設置しても同様の効果が得られる(図21、図22、図23)。

40

(カ) 第七の実施の形態

網戸(1)のフレーム枠(2)に薄く柔軟な樹脂を用い、四辺のフレーム枠(2)の内、長手枠(3)の一方側の縁にハンドル(33)と磁石(13)を設ける。これとは反対側の長手枠(3)を回転軸(36)をもったドラム(34)の表面に取り付け、網(18)の出入り口をもった縦細長四角形状の筐体(35)の中心付近に設置する。ドラムの回転軸受(37)に隣接してゼンマイバネ(38)を形設し、ゼンマイバネ(38)の内端を回転軸受(37)に固定し、ゼンマイバネ(38)の末端部分を回転リング(39)に固定し、回転リング(39)をドラム(34)と連結し、巻尺の様に網(18)を巻き取り・巻き戻す。このような筐体(35)をドア取付枠(8)の開閉側の垂直枠の室

50

内側に磁石や両面テープ等で取り付け、上記第一の解決手段と同様に庇(16)を設けても、上記第一及び第二の解決手段と同様の効果が得られる。ドア取付枠(8)の開閉側の垂直枠の室内側に近接して、床と天井の間に伸縮式突っ張りポール(30)を立て、筐体(35)を取り付けても同様の効果が得られる(図24、図25、図26、図27、図28)。

本発明は以上のような構造である。

本発明を使用するときは、

(ヨ)上記(チ)第一の実施の形態の使用方法

網戸(1)のフレーム枠(2)を回動させて、網戸取付台(10)と垂直にし、室内側から、防犯チェーンをかけたまま、ドア(28)を外に開け、ドアが閉まらない様にストッパーを挟む。蚊は網戸(1)や庇(16)に阻まれ不審者は防犯チェーンに阻まれて入ってこないが風は通るので快適である。人が出入りする場合は、網戸(1)と庇(16)をそのままにして、防犯チェーンを外せば、通れる。使用しないときは、網戸(1)を、網戸取付台(10)と平行で、ドア(28)とは反対側に倒しておけば、出入りの邪魔にならない。防犯の必要がないときは、防犯チェーンをかけずにドア(28)をあけ、ドア(28)が閉まらない様にストッパーを挟む。網(18)によって、風は通るが蚊の侵入は防げる(図4)。

(タ)上記(リ)第二の実施の形態の使用方法は、(ヨ)と同じである。

(レ)上記(ヌ)第三の実施の形態の使用方法

室内側より、防犯チェーンをかけたままドア(28)を開けると、隙間が空く(図15)。広巾網戸(20)と小巾網戸(21)をスライドさせて、網戸(1)の長さを最短にし、防犯チェーンの下からくぐらせ、ドア(28)とドア取付枠(8)の間の隙間に挟むと、広巾網戸(20)はドアクローザーの戻り力によって、ドア(28)とドア取付枠(8)に挟まれて固定されるが、小巾網戸(21)は、広巾網戸(20)の内側に入っているため、固定されない。そこで、小巾網戸(21)を上へ伸ばして、ドア取付枠の上部水平枠(14)に磁石(13)が付くまで伸ばす。蚊は網(18)や庇(16)に阻まれ不審者は防犯チェーンに阻まれて入ってこないが風は通るので快適である。防犯の必要がない場合には、防犯チェーンをかけずに使用できる。人が出入りする場合は、網戸(1)と防犯チェーンをはずして通る(図16)。更に上記の使用方法以外に、防犯チェーン(31)をかけずに、先に網戸(1)をセットし、ドア(28)に予め付いている防犯チェーン(31)とは別に用意したフック付きチェーン(41)のフック(40)をドア(28)に付いているレール(42)に入れ、フック(40)とは反対側のチェーンの先端を備え付けの防犯チェーンの固定具(43)にシリンダー錠(44)で止めて使用し、人が出入りする場合は、シリンダー錠(44)と網戸(1)をはずして通る使用方法もある(図29)。

(ソ)上記(ル)第四の実施の形態の使用方法

網戸(1)のフレーム枠(2)を回動させて、網戸取付台(10)と垂直にし、室内側から、防犯チェーン(31)をかけたまま、ドア(28)を外に開け、ドアが閉まらない様にストッパーを挟む。

(ツ)上記(ヲ)第五の実施の形態の使用方法

図19の様に網戸(1)を網戸取付台(10)と垂直方向にし、防犯チェーン(31)をかけ、ドア(28)を開け、ドアストッパーで止め、網戸(1)を図20の様にドア(28)側に傾け、磁石(13)が回動ストッパー(6)に付くまで倒す。人が出入りする場合は、網戸(1)をおこして、網戸取付台(10)と垂直方向にし、磁石(13)が回動ストッパー(6)に付くまで倒し、防犯チェーン(31)を外してから通る。

(ネ)上記(ワ)第六の実施の形態の使用方法

防犯チェーン(31)をかけ、ドア(28)を開き、ドアストッパーで止めると、できた隙間を網戸(1)と庇とモヘア(7)が塞ぐので、蚊や不審者は侵入してこない。風は良く通る。防犯チェーン(31)を外し、ドア(28)を広く開けると、長手

10

20

30

40

50

枠（３）の一部がドア先端に当たり、網戸（１）はそれ以上回転せずに停止する。ドア（２８）を閉じたとき、パネ（３２）は約９０度に曲がる。この様に、網戸（１）が付いてない通常の玄関ドアと同じ様にドア（２８）の開け閉めが出来る（図２２、図２３）。

（ナ）上記（カ）第七の実施の形態の使用方法

防犯チェーン（３１）をかけたままドア（２８）を開け、ドアストッパーで止め、ハンドル（３３）を持って網（１８）を引き出し、磁石（１３）をドア（２８）に付けると、風は入ってくるが、不審者は防犯チェーン（３１）に阻まれ、蚊は網（１８）と庇とモヘア（７）に阻まれ侵入してこない。出入りするには、ハンドル（３３）を筐体（３５）側に戻し、網（１８）をドラム（３４）に巻き取り、防犯チェーン（３１）を外してドア（２８）を開け、出入りする（図２４、図２７、図２８）。

10

【符号の説明】

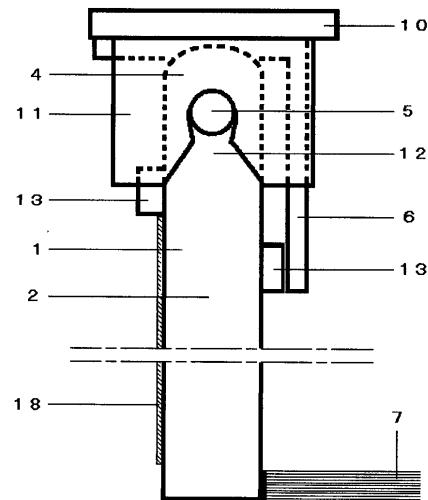
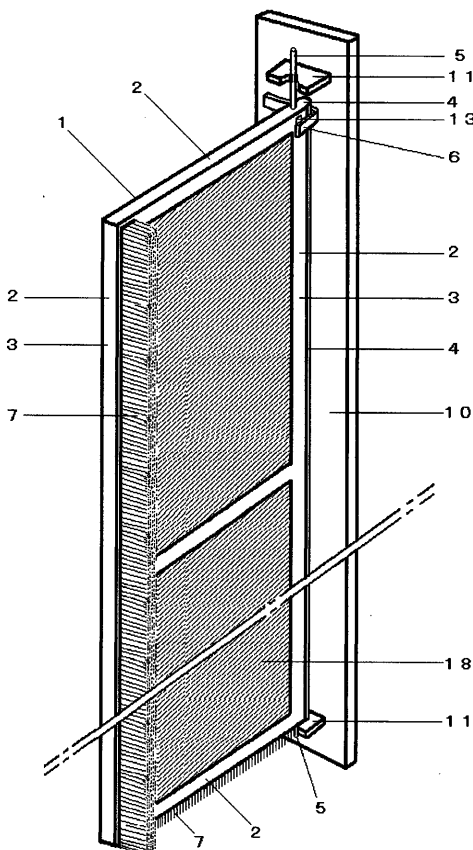
【０００９】

１ 網戸、 ２ フレーム枠、 ３ 長手枠、 ４ 土手状、 ５ 取付軸、
 ６ 回動ストッパー、 ７ モヘア、 ８ ドア取付枠、 ９ ドア開閉側、
 １０ 網戸取付台、 １１ 取付軸受、 １２ 受け口、 １３ 磁石、
 １４ ドア取付枠の上部水平枠、 １５ ドア固定側、 １６ 庇、 １７
 ドアノブ、 １８ 網、 １９ 交差部、 ２０ 広巾網戸、 ２１ 小巾
 網戸、 ２２ 広巾網戸の長手方向のフレーム枠、 ２３ 小巾網戸の長手方向のフ
 レーム枠、 ２４ 広巾網戸の溝、 ２５ 小巾網戸の溝、 ２６ 広巾網戸の溝
 の縁、 ２７ 小巾網戸の溝の縁、 ２８ ドア、 ２９ 伸縮部分、 ３０
 伸縮式突っ張りポール、 ３１ 防犯チェーン、 ３２ パネ、 ３３ ハンド
 ル、 ３４ ドラム、 ３５ 筐体、 ３６ 回転軸、 ３７ 回転軸受、
 ３８ ゼンマイパネ、 ３９ 回転リング、 ４０ フック、 ４１ フック付き
 チェーン、 ４２ レール、 ４３ 固定具、 ４４ シリンダー錠

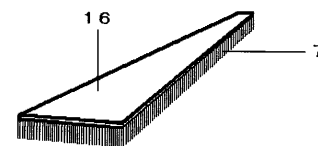
20

【図１】

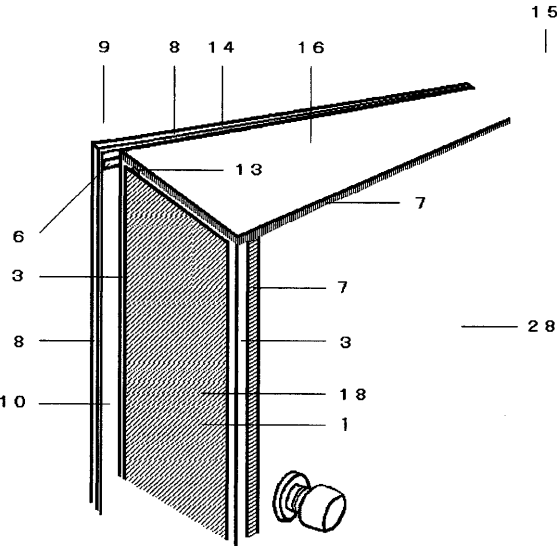
【図２】



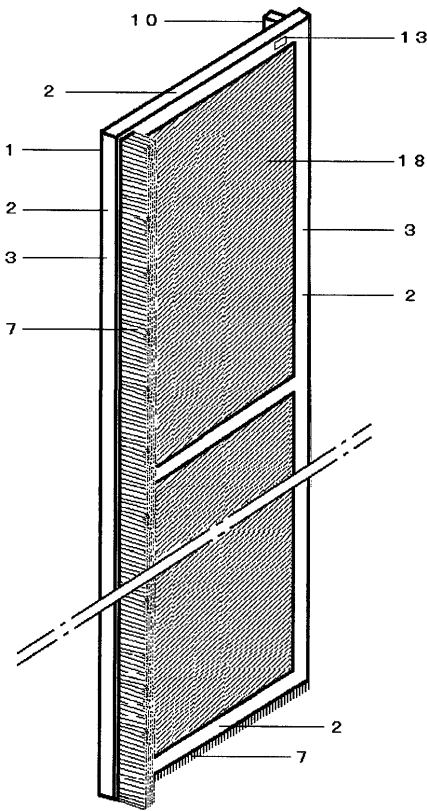
【図３】



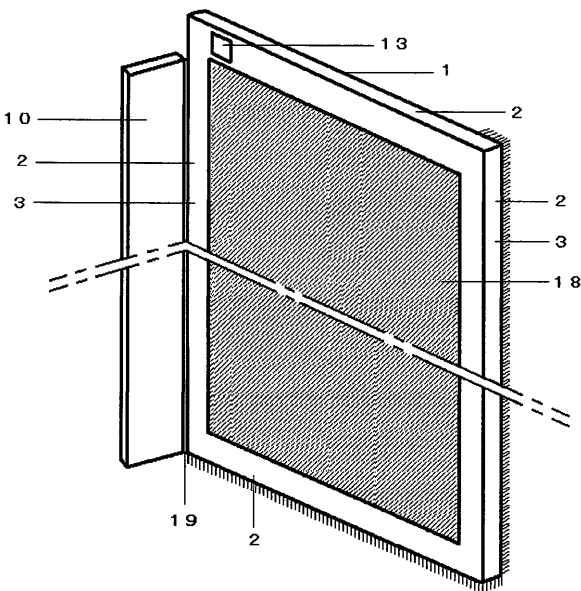
【 図 4 】



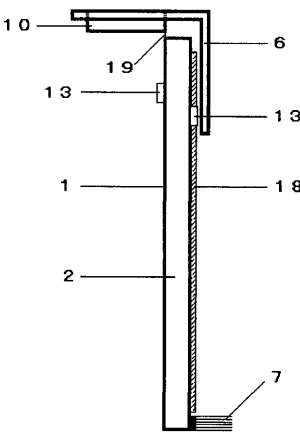
【 図 5 】



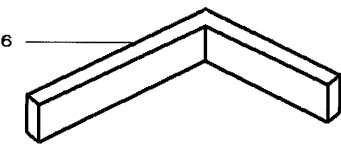
【 図 6 】



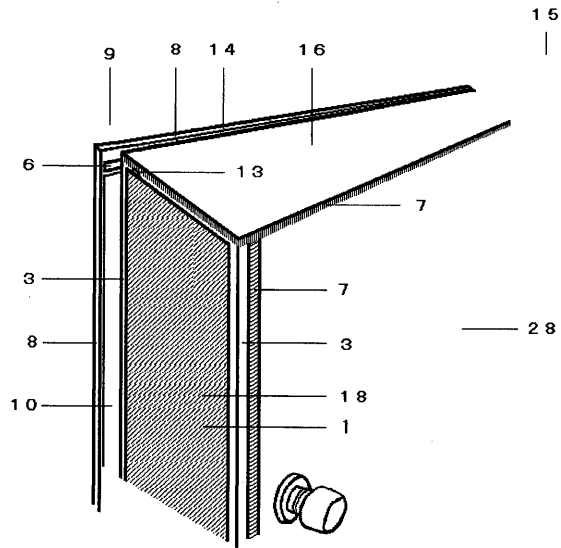
【 図 8 】



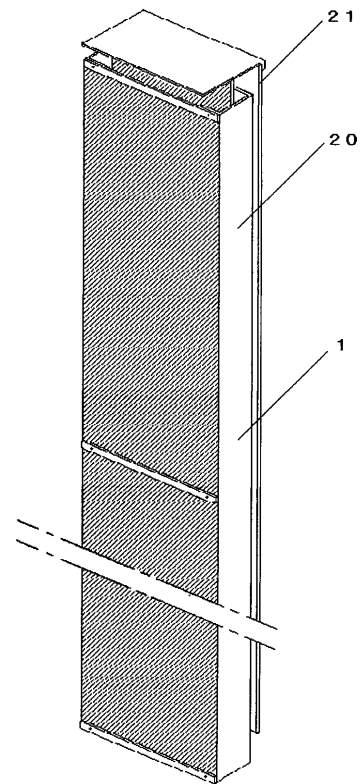
【 図 7 】



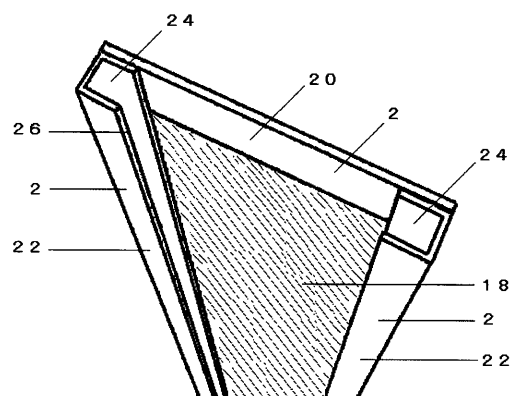
【図 9】



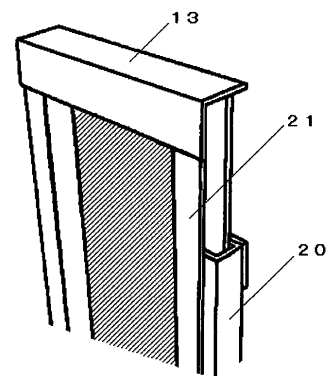
【図 10】



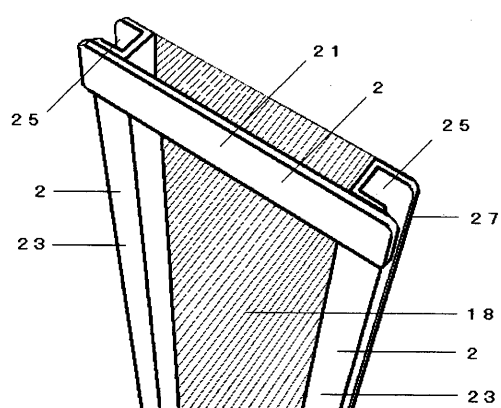
【図 11】



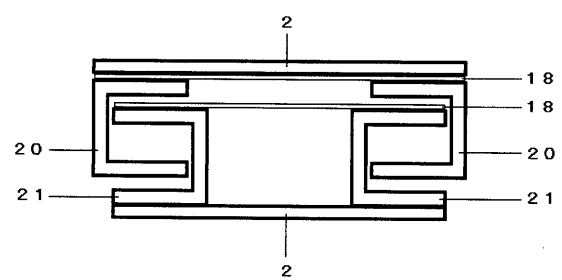
【図 13】



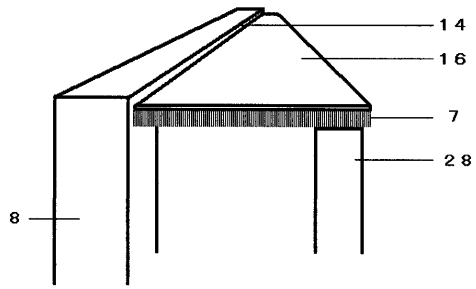
【図 12】



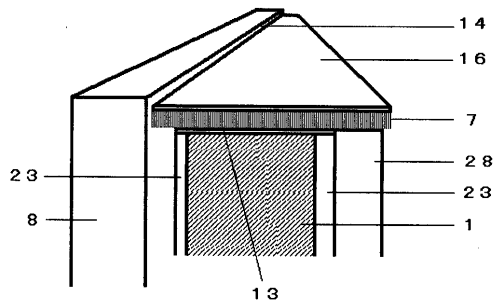
【図 14】



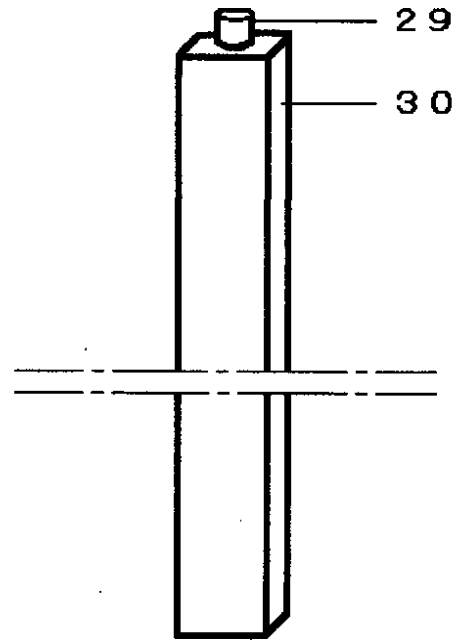
【図 15】



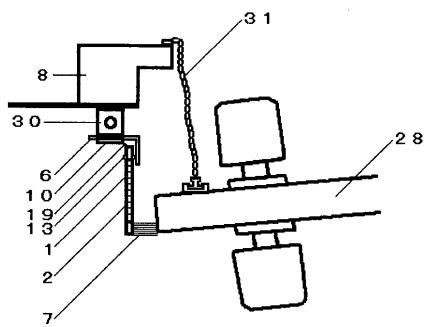
【図 16】



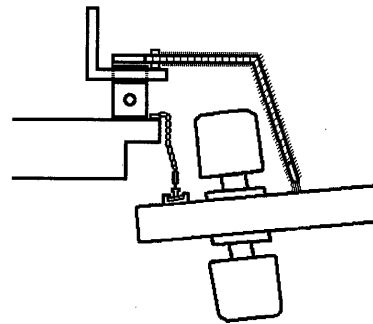
【図 17】



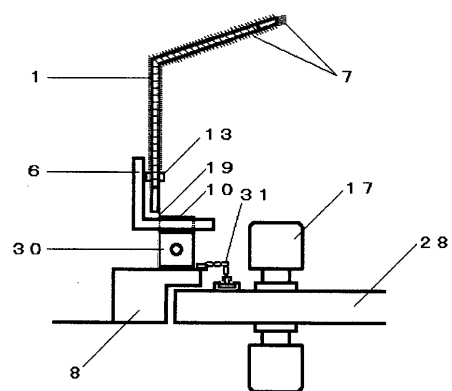
【図 18】



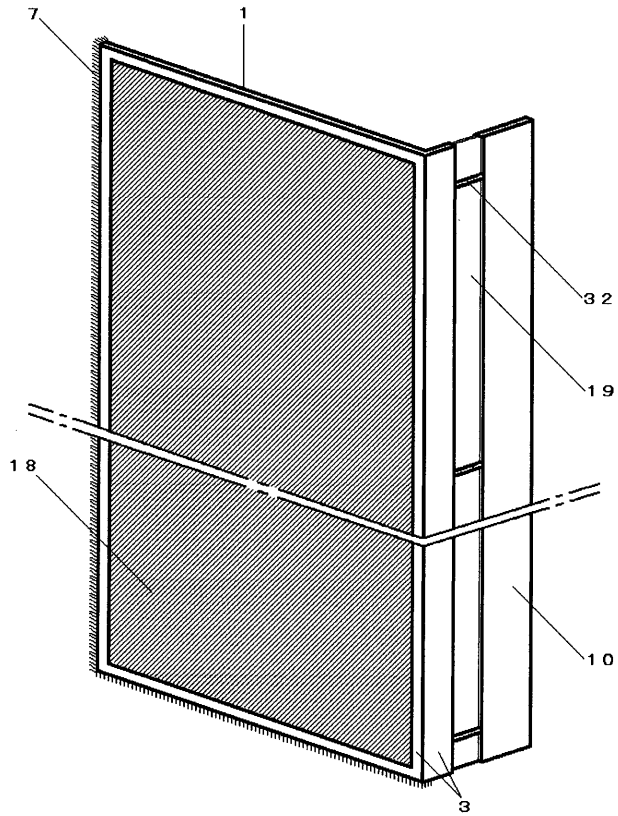
【図 20】



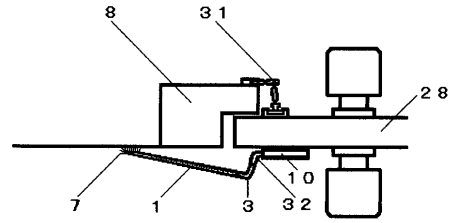
【図 19】



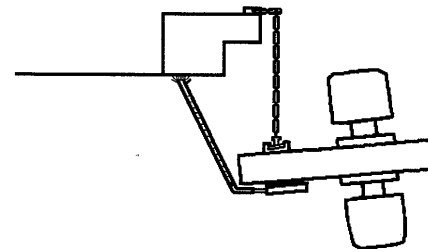
【図 2 1】



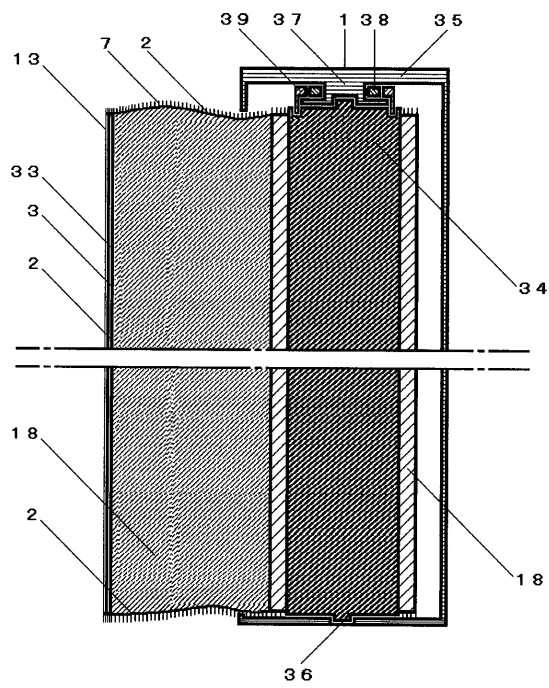
【図 2 2】



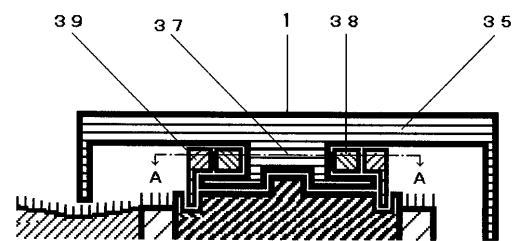
【図 2 3】



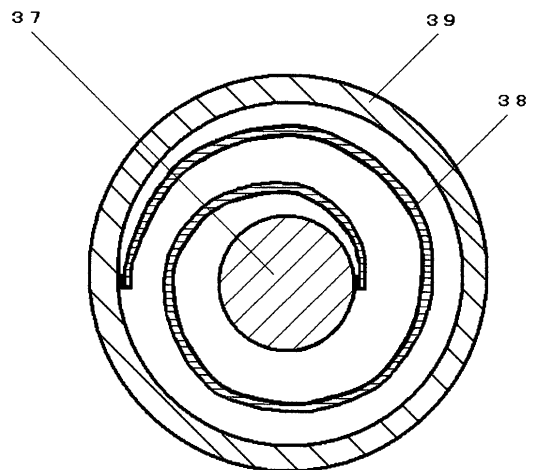
【図 2 4】



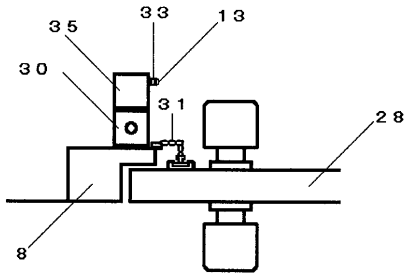
【図 2 5】



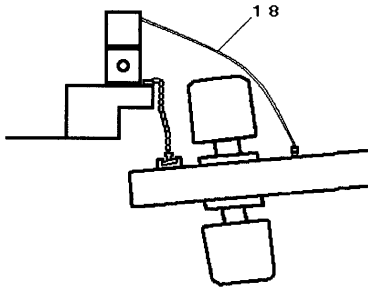
【図 2 6】



【図 27】



【図 28】



【図 29】

